

SOSの受け止め方に関する授業案（50分）

1 本時の目標

- 友人に相談されたとき、また、友人がつからそうにしているときの対処方法を身に付ける。

2 準備するもの

- (1) ワークシート
- (2) SOSの出し方・受け止め方リーフレット

3 留意事項

配慮を必要とする生徒がいる場合、授業中につらくなったときの対処法を事前に伝える（保健室に行くなど）。

4 展開

	学習活動	指導上の留意点
導入 5分	<ol style="list-style-type: none"> 1 今までに友人に相談したり、相談したりした経験を振り返る。 2 本時のねらいを理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 授業者側の経験を伝え、生徒が発言しやすい雰囲気をつくる。 ・ 悩みの質・量に個人の差はあるが、悩むことは自然であることを伝える。
<div style="border: 2px solid blue; padding: 5px; display: inline-block;"> 本時のねらい：相談されたときに適切に対応する力を身に付けよう </div>		
展開 35分	<ol style="list-style-type: none"> 3 傾聴方法を学ぶ。 <ul style="list-style-type: none"> ・ ワークシートのロールプレイ①②をペアで行う。 ・ A役、B役の両方を体験する。 4 ロールプレイから気づいたことを記入する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ ペアの作り方を配慮する（相性がよくないペア、ふざけ合いそうなペアにならないようにする）。 ・ 生徒の様子をよく観察し、必要に応じて声かけをする。 ・ 知られたくない内容については書く必要がないことを伝える。
<div style="border: 1px dashed blue; padding: 5px; display: inline-block;"> 発問：2つのロールプレイを通じて、何を感じましたか。アドバイスを受けたときと感情を受け止められたときの違いはどうでしたか。 </div>		
	<ul style="list-style-type: none"> ・ ワークシート1に記入する。 ・ 記入後、ペアで各自の気づきを共有する。 <ol style="list-style-type: none"> 5 大人につなげる重要性とその方法を学ぶ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ ロールプレイ①ーア（助言型）や②ーア（助言型）よりも①ーイ（傾聴型）や②ーイ（傾聴型）の聴き方が相談側にとって望ましいことに気づかせる。 ・ クラスの様子を見ながら、対処方法を共有するための手立てを講じる。 ・ 感情を受け止めるだけでは解決できないことがある。そのときに、悩みが深刻にならないように信頼できる大人につなげる大切さを伝える。

<p>展開 35分</p>	<p>発問：友人から相談された内容が深刻で、「誰にも言わないで」と言われたらどうしますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ワークシート2に記入する。 <p>6 リーフレットに掲載されている相談機関を確認する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 友人に「誰にも言わないで」と言われても、大人に相談することが大切だと伝える。 大人につなげるために、次のような対応が役に立つことを伝える。 <ol style="list-style-type: none"> 大人への相談に付き添うことを提案する。 誰（具体的な大人）ならば相談する気になるかを尋ねる。 相談内容は伝えず、友人が悩んでいる事実だけを大人に伝える許可を得る。そして信頼できる大人に伝える。 相談機関に（必要ならば一緒に）相談する。
<p>まとめ 10分</p>	<p>7 体験を振り返り、ワークシート3を記入する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 友人から相談されたときに、まずは感情を受け止めること、次に大人に相談することを確認する。 自分の意見を記入することを戸惑っている様子の生徒には、無理に記入しなくてもよいことを伝える。 ワークシートの回収をする。

ワーク1 ロールプレイについて

- ①ーア、②ーア【アドバイスする】は、助言型とする。
- ①ーイ、②ーイ【感情を受け止める】は、傾聴型とする。